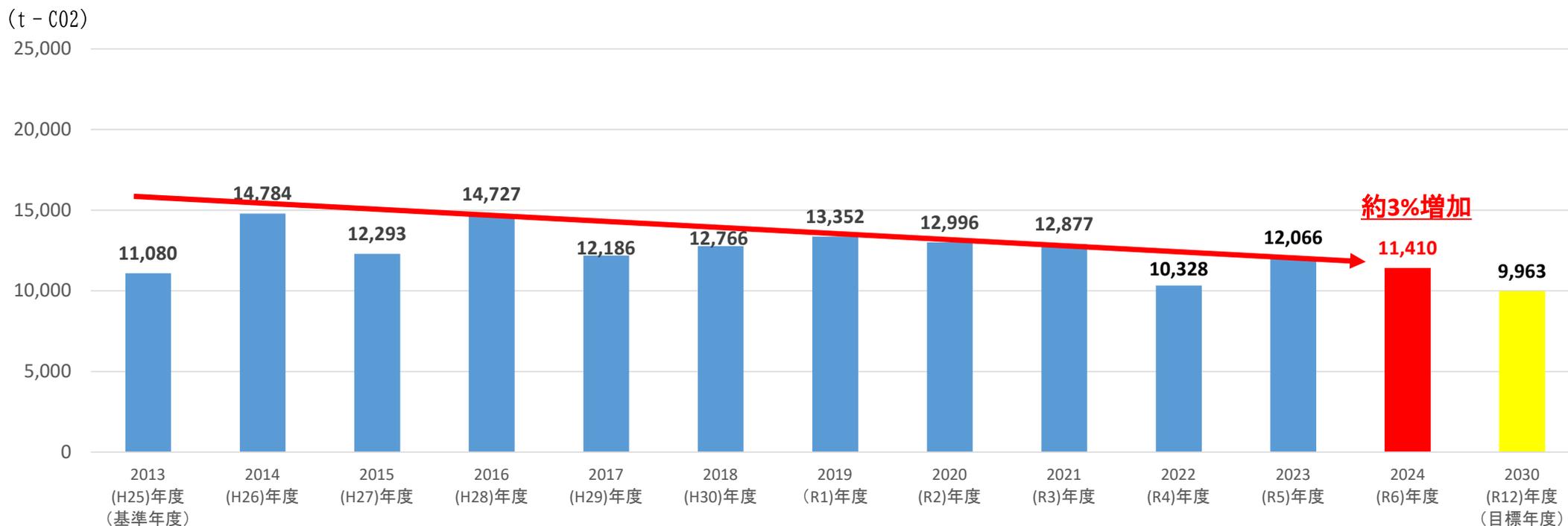


非エネルギー起源二酸化炭素排出量の進捗状況

- ・非エネルギー起源二酸化炭素排出量は、基準年度と比較すると約3%増加した。
- ・非エネルギー起源二酸化炭素排出量は、プラスチックなどの割合に関連しているため、引き続きプラスチックごみの削減の啓発を続け、二酸化炭素排出量の削減に努める。



(出典 2024(R6)年度温室効果ガス管理シート (環境施設課))